

2016年3月期（19期） 決算説明会

2016年5月11日
株式会社バイ・テクノロジー
代表取締役社長 杉本重人

オー・エイチ・ティー株式会社の子会社化



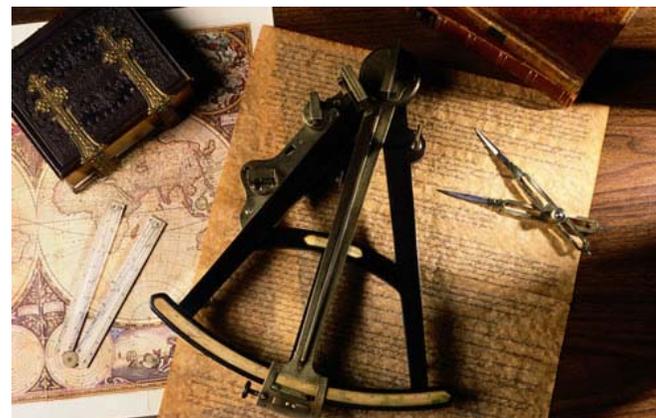
オー・エイチ・ティー株式会社（OHT）の子会社化について（概要）

2016年4月1日に発行済み株式の約67%を1,825百万円で取得。2016年4月1日から連結。

	2013年4月期	2014年4月期	2015年4月期
純資産 (百万円)	2,830	2,908	3,065
総資産 (百万円)	4,537	4,399	8,636
売上高 (百万円)	2,566	2,774	6,341
経常利益 (百万円)	▲190	79	579
当期純利益 (百万円)	▲440	60	265

(表) OHTグループの業績、総資産などの推移

決算概要



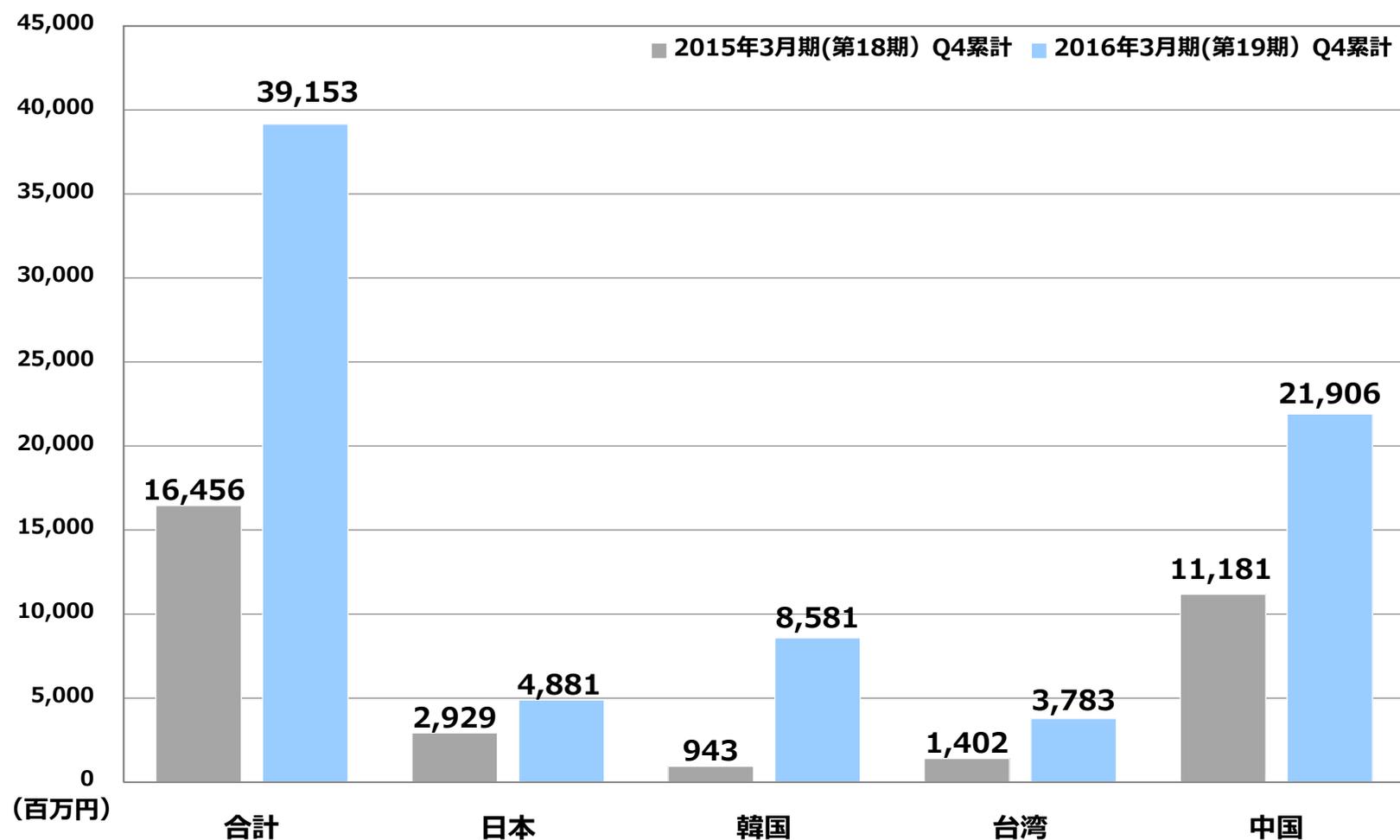
連結業績ハイライト（前期比）

FPD装置市場の活況、M & A、販売活動強化などにより業績拡大。営業利益額で過去最高を記録。

	2015年3月期（第18期） Q4累計期間		2016年3月期（第19期） Q4累計期間		増減率
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	
売上高	16,456	100.0%	39,153	100.0%	138.0%
売上総利益	4,050	24.6%	8,959	22.9%	121.2%
営業利益	862	5.2%	2,578	6.6%	199.2%
経常利益	1,053	6.4%	2,235	5.7%	112.3%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	533	3.2%	989	2.5%	85.6%

地域別連結売上高（前期比）*

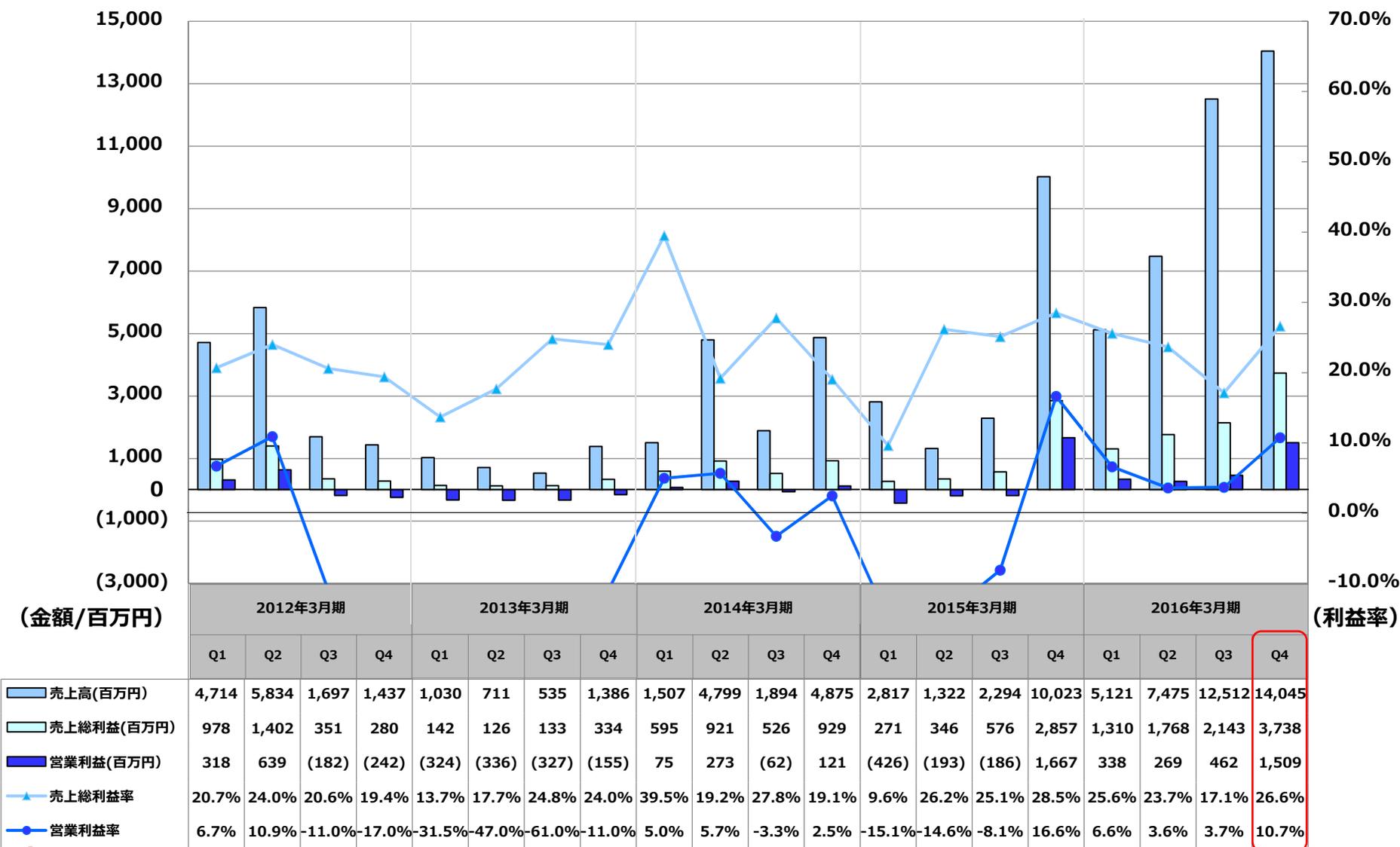
工場新設、及び高精細対応等に伴う既存工場の増強により、各地域、特に韓国向けが大幅に売上増加。



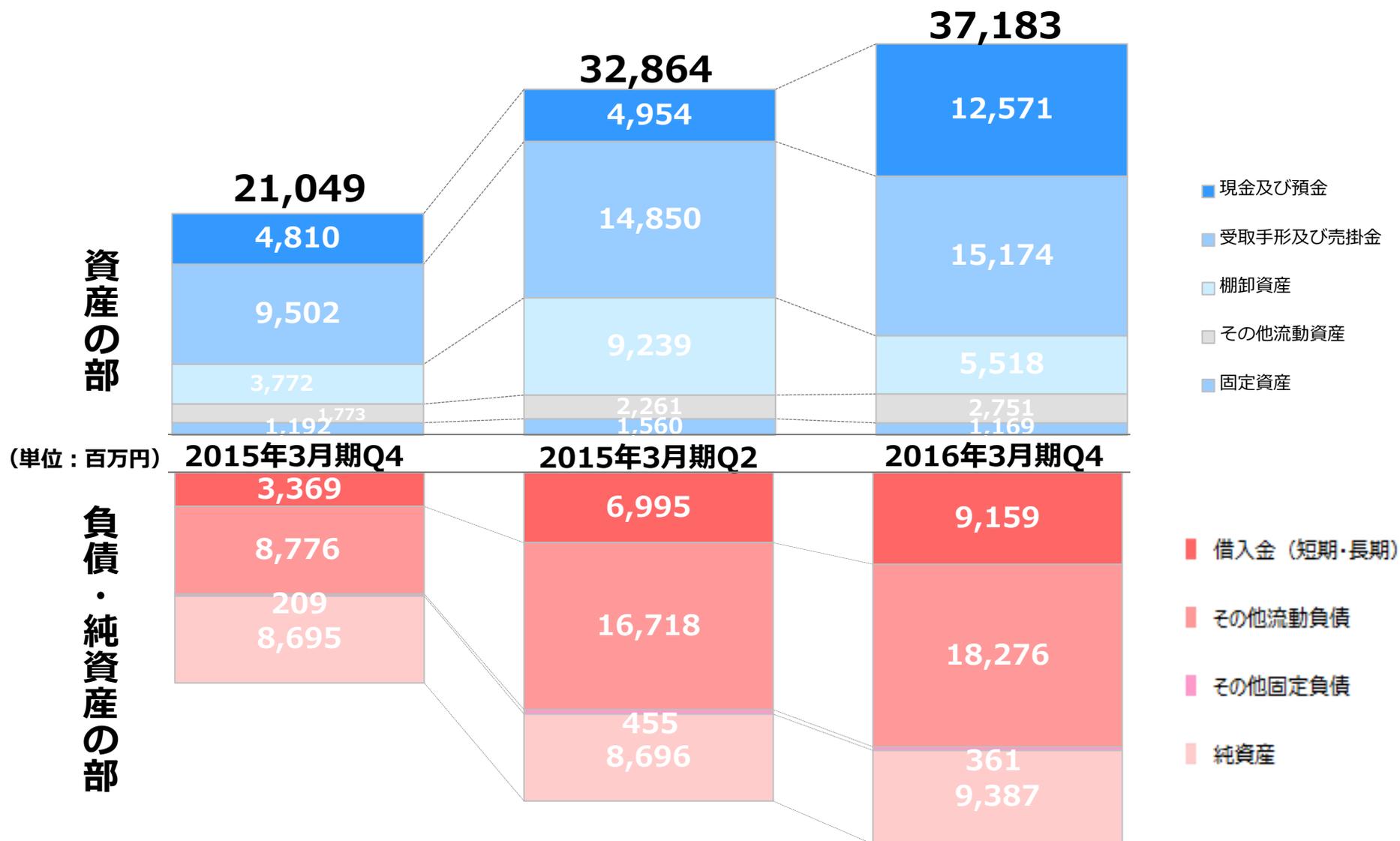
*地域別売上高計上方法の変更：当中間決算より納品先の国籍別から投資判断を行う本社所在地別に変更。

四半期毎連結売上高・利益の推移

顧客の意向により計画より前倒し。Q4売上高は過去最高額を達成。



連結貸借対照表の推移



連結キャッシュフローの推移

資金の主な用途と取得：

営業活動によるキャッシュフロー：前受金21.6億円、税金など調整前純利益17.9億円など。

投資活動によるキャッシュフロー：定期預金の払い戻しによる7億円など。

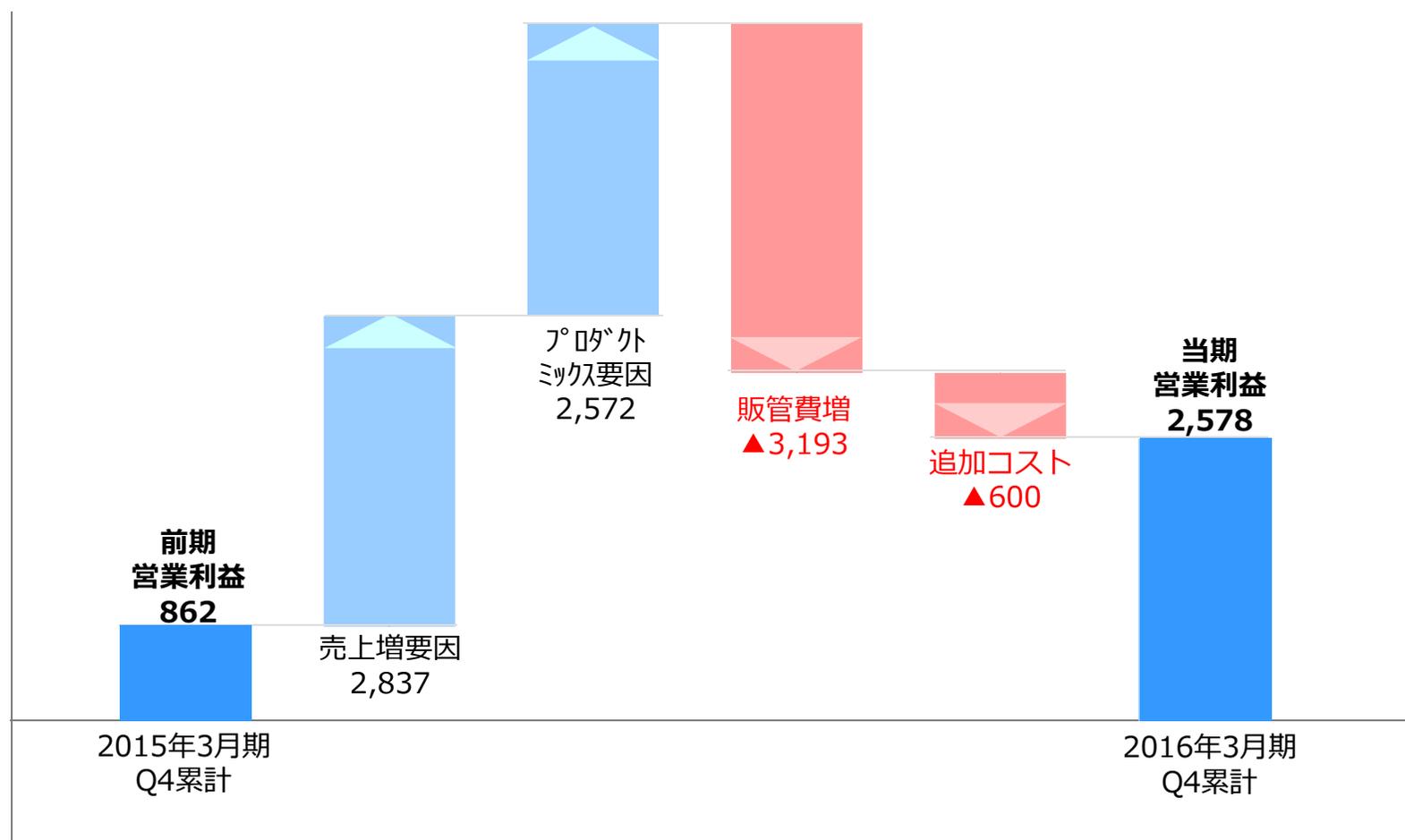
財務活動によるキャッシュフロー：短期借入金による124億円、短期借入金の支払い103億円など。

		2015年3月期 Q4累計期間	2016年3月期 Q2累計期間	2016年3月期 Q4累計期間
期首現金及び現金同等物残高		4,539	4,375	4,375
営業活動による キャッシュフロー	税金調整前純利益	1,065	529	1,796
	売上債権（増加▲）	▲3,300	▲827	▲1,289
	棚卸資産（増加▲）	▲1,285	▲3,048	711
	仕入債務（減少▲）	3,088	520	1,497
	その他	192	2,620	2,810
	Total	▲240	▲240	5,525
投資活動によるキャッシュフロー Total		▲82	▲643	▲445
財務活動による キャッシュフロー	借入	3,469	5,560	15,172
	返済	▲3,372	▲4,333	▲11,782
	その他	▲47	▲51	▲144
	Total	50	1,176	3,246
現金及び現金同等物に関わる換算差額		108	▲48	▲131
現金及び現金同等物の増減核（減少▲）		▲163	277	8,196
四半期末現金及び現金同等物残高		4,375	4,653	12,571

（単位：百万円）

連結営業利益の差異分析

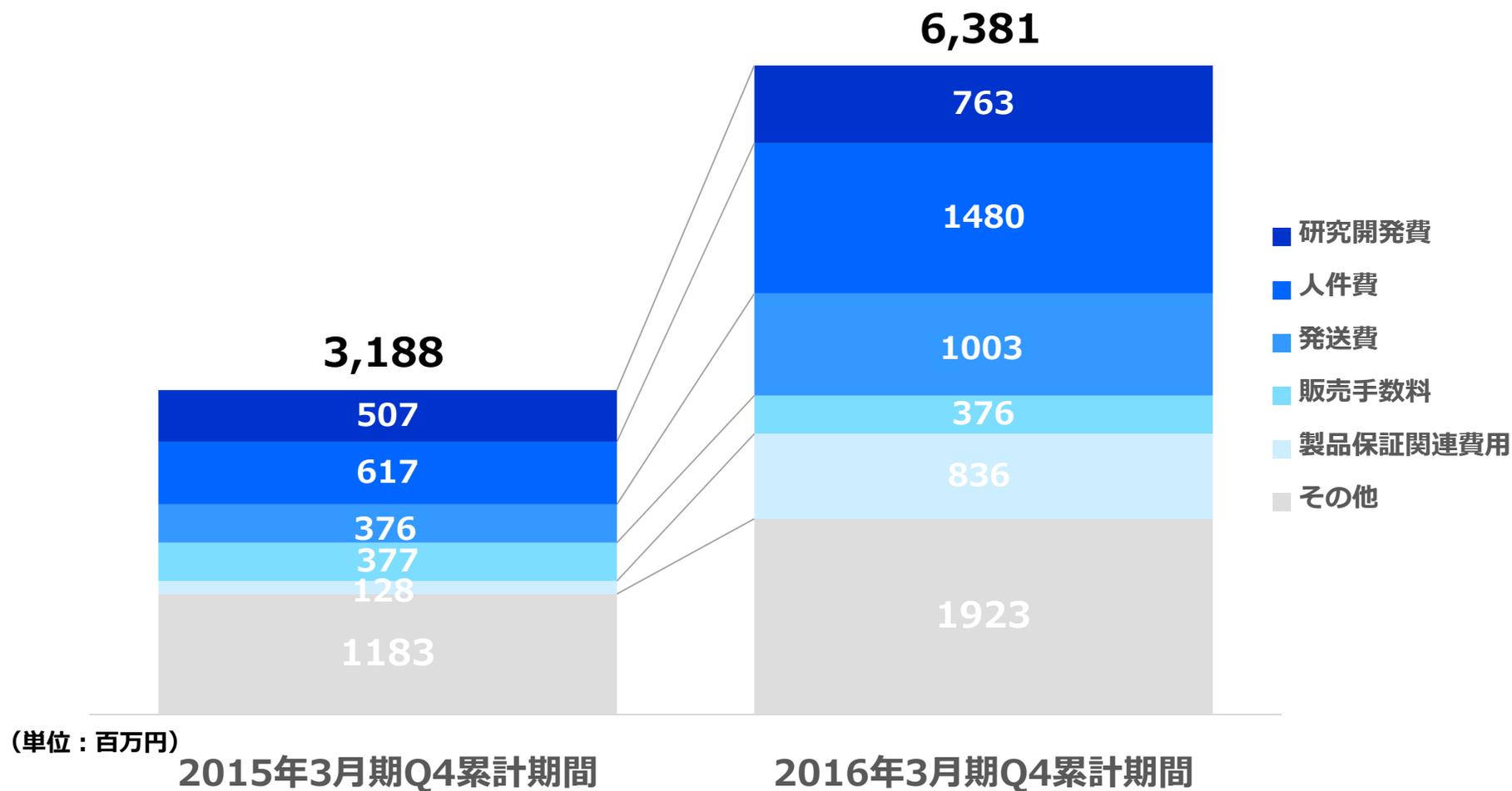
追加コストについて：Q 2～4で、現地生産初期ロット品の改善および新規開発初号機の改善等の目的で6億円を計上。



(単位：百万円)

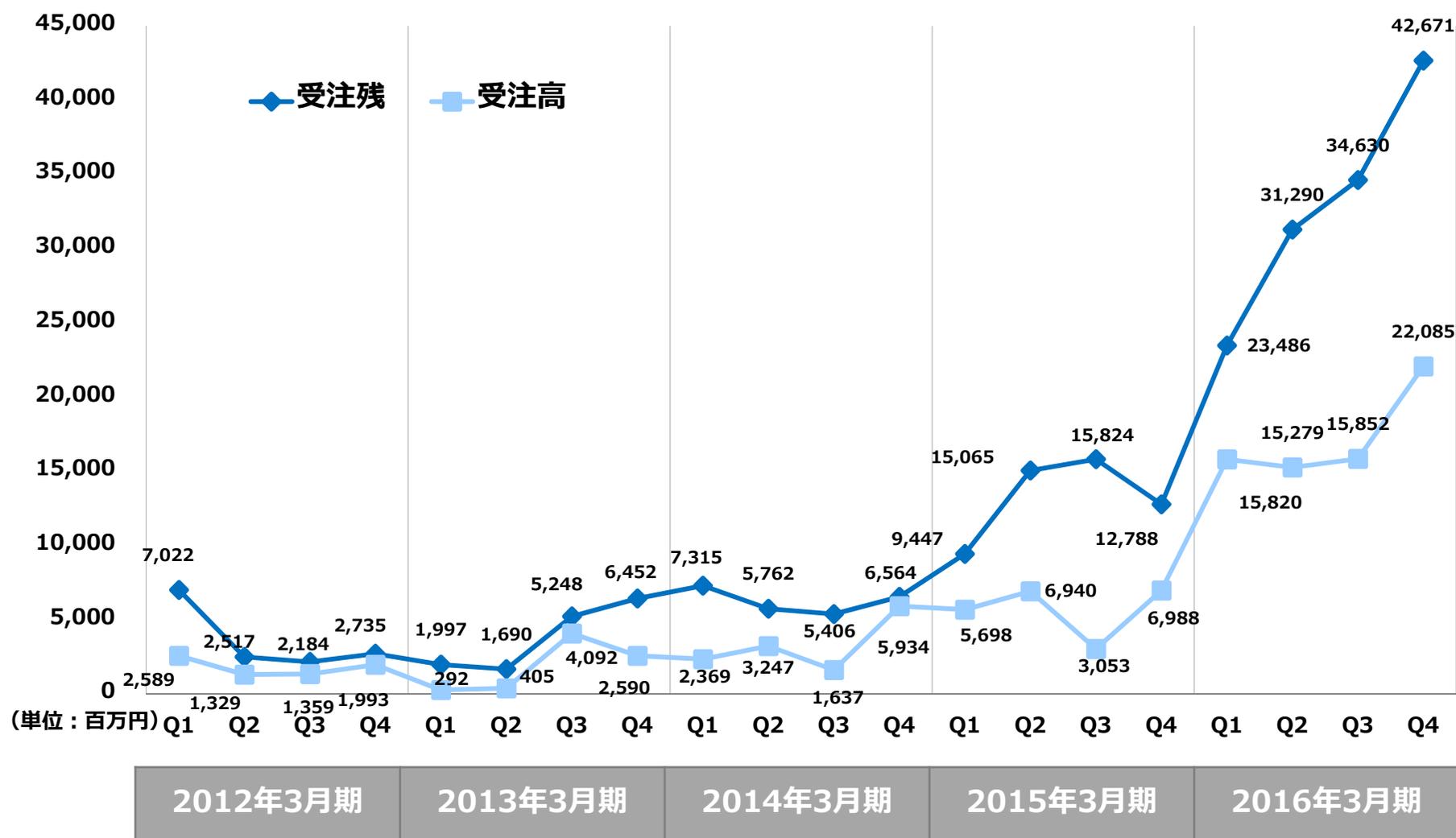
販売費及び一般管理費

VNシステムズの連結および売上増加などにより、発送費、販売手数料、製品保証関連費用が大幅に増加。



四半期毎連結受注残・受注額の推移

受注：2四半期連続で最高額を更新。受注残：4四半期連続で最高額を更新。



2017年3月期 業績見通し

	2016年3月期実績		2017年3月期見通し		増減率
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	
売上高	39,153	100.0%	45,000	100.0%	14.9%
営業利益	2,578	6.6%	4,000	8.9%	55.2%
経常利益	2,235	5.7%	3,800	8.4%	70.0%
純利益	989	2.5%	1,900	4.2%	92.0%

中期経営計画について

中期経営計画を発表いたします。

当社について一層深くご理解いただけましたら幸甚に存じます。

発表日：6月24日（予定）

仔細、確定いたしましたら改めてご案内申し上げます。

本資料の取扱いに関する注意事項

株式会社ブイ・テクノロジー（以下、甲という）より御社（以下、乙という）に向けて本資料を提示するにあたり、以下の点について確認する。

本資料における甲の業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含む。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得る。

乙は、本資料に秘密情報が含まれる内容ならびに本資料の提示を受けたこと自身が秘密情報であることを理解し、甲からの事前の書面による承諾を得ることなく、当該秘密情報をいかなる第三者に対しても開示または漏洩しないものとし、自己のためといえども、本資料において示された範囲内において、甲より提供される特許ならびに関連発明／技術ノウハウの実施許諾の可否に向けた検討の目的（以下、本目的という）以外に使用しないものとする。

乙は、上記秘密保持義務を遵守するため、善良なる管理者の注意をもって秘密情報を管理するものとする。

乙は、当該秘密情報を知る必要のある自己の役員および従業員のみを開示するものとし、当該役員および従業員に対して上記義務を遵守させるものとする。

乙は、本目的のために合理的に必要な範囲内でのみ、甲の書面による事前の承諾を得たうえで、秘密情報を複製することができるものとする。乙は、本項に基づき秘密情報を複製した場合には、開示者である甲の秘密情報である旨の表示を当該複製物に付するものとする。

甲は、本資料の内容ならびに秘密情報の利用に関して、完全性、正確性を保証しない。また、甲は、第三者の特許権、著作権、その他知的財産権の侵害、もしくは申請中の特許成立の有無を含め、いかなる瑕疵担保責任および保証責任を負わないものとする。また、甲は、いかなる場合においても、本資料に関連して提示した直接的、間接的、偶発的、特別の、あるいは懲罰的な賠償について、一切、責任を負わないものとする。

乙は、甲の同意の有無にかかわらず、秘密情報を使用もしくは参照することによって生じた発明、改良、応用およびこれらにかかる権利の出願、登録については、別段の書面による合意を除き、甲に権利があるものとしてその権利を甲またはその指定する者に対して承継、帰属させる（著作権法第27条および第28条の権利を含む）。

甲は、本資料ならびに機密情報に関する内容、条件等を予告なく変更することがある。